

ビタミンD欠乏症くる病について



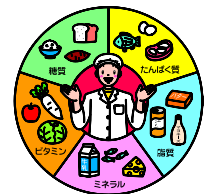
小児科
箱田 医師

みなさん、くる病をご存じでしょうか？

くる病は、小児期において、カルシウムやリンの低下により骨の石灰化がうまく起こらず、骨の変形や成長障害をきたす病気です。成人期においては骨軟化症と言われます。くる病をきたす原因として最も多いのが、カルシウムやリンの体への吸収を促すビタミンDの不足です。

ビタミンD欠乏性くる病の歴史を少しひも解くと、17世紀の産業革命後のイギリスで初めて「くる病」が報告され、都市部の多くの子どもたちが苦しめられましたが、その後20世紀に入って発見されたビタミンDにより治療や予防が可能であることが分かり、栄養環境の改善に伴い激減、過去の病気と考えられつつありました。しかしながら、近年、世界的にビタミンD不足の子どもたちが増えています。その要因として、小食や偏食、菜食主義、食物アレルギーに対する極度の食事制限など栄養の問題による摂取不足があります。またビタミンDは、食事から摂取されるだけでなく、紫外線に当たることによって皮膚でも産生されますが、紫外線が敬遠されがちな近年、過度の日光浴制限や強力なサンスクリーンの使用によりビタミンD不足をきたすこともあります。実際、日本において紫外線量がより少ない北海道など高緯度地域で発症頻度が高いことが知られています。

子どもにおけるビタミンD不足の症状は、歩行開始後のO脚やX脚といった骨の変形が最も多く、次いで低カルシウム血症によるけいれん、歩行開始の遅れ、成長の遅れがあり、これらが受診契機となります。骨のレントゲン検査でくる病に特有の所見を認め、血液検査でくる病のパラメーターとなるアルカリホスファターゼ(ALP)の上昇、ビタミンDの低下があればビタミンD欠乏性くる病と診断されます。治療は、ビタミンD製剤の内服を行います。また生活環境の改善の点から、可能な範囲で食生活の是正を図り(ビタミンDの多い魚、卵、きのこ類の摂取)、適度な日光浴(1日15分程度)をお勧めします。定期的に経過観察を行い、骨の所見が改善されれば、ビタミンD製剤は中止できます。



JR仙台病院小児科ではビタミンD欠乏性くる病の診療を行っています。上記でお示したビタミンD不足を疑う症状があるなど、気になることがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。

9月 新任医療スタッフの紹介

兵 行彦 (ひょう ゆきひこ)

職種： 医師 出身地：兵庫県 趣味特技：音楽鑑賞

紹介： 社員の方々の健康管理のお手伝いができればと思います。



川守田 佳実 (かわもりた よしみ)

職種： 看護師 出身地：岩手県 趣味特技：ヨガ

紹介： 患者さまに良質な医療を提供できるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



医療の豆知識 『インフルエンザの季節です』

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。同時に、インフルエンザの季節も近づいています。今回は、インフルエンザのお話をさせていただきます。

インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に1人が感染しています。日本では、例年12月～3月頃に流行しますが、今季は、9月に感染が確認されています。いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がりますので、一人ひとりの予防が大切といわれています。感染した人のせきやくしゃみによる飛沫感染と、感染した人が触れた物にウイルスが付着し、それを他の人が触ることによる接触感染がほとんどですので、日ごろからうがい、手洗いをこまめに行い、外出の際はマスクを使用し、人ごみには近づかないようにしましょう。またインフルエンザにはワクチンの予防接種が非常に有効です。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、合併症の心配もありますので、医師に相談の上、必ず接種しましょう。

【健康管理センター 看護師長 我妻和枝】

お知らせ

第4回JR仙台病院 糖尿病デー『糖尿病と治療』について

■日時：平成30年11月15日(木) 13:00～ 場所：1Fエントランスホール

当日は糖尿病の治療に関する講演(薬・運動・食事等)を医師や各専門のコメディカルが担当します。その後にスタンプラリー形式で体験コーナー(血糖自己測定・BMI測定等)、パネル展示などの催し物を企画しております。多くの皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

田原さえ&磯村真凜

～夏の終わりに～コンサートの報告

8月24日午後3時より、当院エントランスホールにて音楽コンサートを開催しました。

患者さまやご家族、近隣のお客さまが見守る中、田原さまのピアノ独奏で始まり、次にピアノに合わせて、磯村さまの歌声がホールに響き観客を魅了しました。曲目はベートーベン：ソナタ「悲愴」第2楽章、ドビュッシー：月の光、リスト：ラ・カンパネラなど約20曲を披露していただきました。



AED(自動体外式除細動器)訓練実施

8月28・29・31日の3日間「医療安全講習会」～心肺蘇生&AED使用方法～を開催しました。

心肺蘇生の重要性や一連の流れの説明があり、胸骨圧迫の押す場所と強さの確認、AEDを音声



ガイダンスに従い電極パッドを貼りボタンを押す確認をしてから、医療技師や事務職など2名一組で指導を受け訓練を行いました。

総合防火防災訓練の実施

9月13日 震度6強の地震が発生したという想定で避難誘導や救出救護の訓練を行いました。



理念

高度で良質な医療と心のこもった患者サービスで地域社会に貢献し、調和のとれた企業立病院をめざします。

院 是
調 和

～基本方針～

1. 高度かつ良質な医療を提供し、地域医療機関との機能連携を強化して企業立病院として社会貢献します。
2. プライバシーの尊重と最善のアメニティに配慮し、安心と満足が得られる快適な療養環境を整備します。
3. 全スタッフが一丸となって心のこもった患者サービスを提供します。
4. 日々研鑽に努め、責任を持って仕事に携わる質の高い医療人を育成します。
5. 医療環境の変化に対応できる健全な医療経営に努めます。